

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	秋川ファーマーズセンター
	所在地	あきる野市二宮811番地
	所管課	環境経済部農林課農政係（内線）2522
指定管理者	名称	秋川農業協同組合
	所在地	あきる野市秋川三丁目1番地1
	業務内容	① 市内農業者が生産した良質で新鮮な農畜産物等の販売業務 ② 農畜産物等の販売促進に関する業務 ③ 農畜産物等の計画的生産に関する業務 ④ 地域産業との相互協力による販売業務 ⑤ 農業従事者の相談に関する業務 ⑥ 市民農園の管理に関する業務 ⑦ センターの維持管理に関する業務 ⑧ その他市長が必要と認める業務
ホームページURL		http://www.ja-akigawa.or.jp/shiten/tennpo/fc.htm
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開館等日数（日）	359	359	359	357	352
利用者（来客者）数（人）	304,331	303,528	284,595	272,914	246,158
前年度比（人）	△451	△803	△18,933	△11,681	△26,756
前年度比（%）	99.9	99.7	93.8	95.9	90.2
利用料金（売上）合計（千円）	457,575	466,268	437,345	418,229	415,390
前年度比（千円）	4,796	8,693	△28,923	△19,116	△2,839
前年度比（%）	101.1	101.9	93.8	95.6	99.3

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
収入	指定管理料	0	0	0	0	
	使用料収入（売上）	275,577	290,563	273,925	264,008	261,654
	自主事業収入	177,602	171,258	159,157	149,742	149,510
	その他の収入	4,397	4,447	4,263	4,479	4,226
	計	457,576	466,268	437,345	418,229	415,390
支出	人件費	22,224	28,144	28,961	17,527	16,838
	維持管理経費	20,290	20,699	19,687	20,395	18,881
	自主事業関係経費	412,660	416,981	395,506	381,700	378,411
	その他の支出	12	100	18	26	36
	計	455,186	465,924	444,172	419,647	414,166
収支（収入－支出）	2,390	344	△6,827	△1,418	1,224	

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
店内にアンケート用紙及び回収箱を置き、来店者の皆様の様々な意見・要望等を確認して、直売所運営委員会を通じて、生産者へ周知することにより、様々なニーズに対応できるよう常に施設運営の向上に努めた。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
端境期などでは、商品が少なくなり、お客様から「せっかく来たのに何もない」という苦情・要望があるので、時期に応じて加工品や仕入れ商品の充実を図り補うように努める。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
販売している野菜の近くにレンピや商品説明のPOPを置くなど様々な手段を活用してサービスの向上に努めた。また、地場産野菜を使用した加工品を開発し六次化産業の促進、学校給食等への提供を行いサービス向上に努めた。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋有料化による消費資源の削減に努めた。 ・照明・エアコン等の使用率を減らすことに努めた。 ・パートの活用による人件費の削減に努めた。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
新型コロナウイルス感染症の影響により、前半は大きく来場者の減少があった。後半には若干の回復はあったが最終的に前年比1割の減少となった。しかしながら、売上は前年対比99%の結果となり、販売野菜、仕入商品の充実を図り集客増となるよう努めていく。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
新鮮で安心・安全な「朝採り野菜を食卓へ」をキャッチフレーズの下、生産者の集まりである出荷部会と秋川農業協同組合が連携して、利用者アンケートなどを基に、来場者の意見を積極的に取り入れるよう努めており、更なる市民サービスの向上に努めている。
経費削減の取組
レジ袋の有料化に伴い、マイバック持参の呼び掛けや納品物の段ボール箱を持ち帰り用のケースとして再利用するなどに取り組みとともに、照明灯や空調についても必要最小限の使用とするなど節電にも努めている。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
指定管理者として、業務内容全般について適正に管理・運営されていると評価する。一方で、端境期における品物不足や農業従事者の高齢化を踏まえ、良質な農畜産物の計画的生産について、秋川農業協同組合（営農指導）が生産者を先導することが望まれる。

総合評価	A
------	----------

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。